

令和6年度第2回新見市子ども・子育て会議 会議録

開催日時	令和6年9月27日（金）13：30～14：10
開催場所	新見市役所 南庁舎 3階大会議室
出席した委員 （12名）	<p>新見公立大学健康科学部健康保育学科 准教授          新見市主任児童委員連絡部会 部会長          新見市議会文教福祉常任委員会 委員長          新見市小学校長会 会長（代理）          新見市保育協議会 代表（代理）          新見市放課後児童クラブ 代表          新見市認定こども園PTA 代表          新見市幼児クラブ 代表          にいみ子育てカレッジ 利用者代表          新見商工会議所 専務理事          新見市教育委員会教育部 部長          新見市福祉部 健康支援担当部長</p>
欠席した委員 （1名）	阿哲商工会 会長
事務局 （3名）	<p>福祉部子育て支援課 次長兼課長          課長補佐          主任</p>

議事内容（要旨）	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会議成立の確認</li> <li>■ 1 開会</li> <li>■ 2 会長挨拶</li> </ul>
会長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挨拶</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 要綱に従って会長に議事進行をお願いする。</li> </ul>
会長（進行）	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 議事①「公立保育所・認定こども園の適正規模・適正配置基準について」</li> <li>・ 議事①について、事務局は説明をお願いする。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公立保育所・認定こども園の適正規模・適正配置基準について説明</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人的な意見として、新砥保育所は昨年度園児数が3名で全員が卒園したため今年度は休園となっている。地域の方からも、去年まで子供の声が聞こえていたが聞こえなくなって寂しいといった意見が届いており、再開が出来ればいいなど思っている。</li> <li>・ しかし、小規模園は家庭的な雰囲気の中で細やかな保育ができるといった利点があるが、コミュニケーション能力や協調性など集団の中で遊びながら育てていく社会性が育ちにくいという面もある。社会性を育てるために保育教諭も工夫をしているが、集団に勝るものはないと感じている。社会性を育てるため、また、寂しくないように他園や地域との交流を積極的に行ってきたが、基本は3名での生活となり寂しさを抱えている場面もあった。</li> <li>・ このことから、私自身の気持ちとしては、集団として成長することができる園児数が確保されることが望ましいと思う。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 集団生活を行うためにも、各園にある程度の人数がいることが望ましいと思っているが、自分の子どもが通っている園でも園児数が減少しており、他園でも同じような状況だと感じている。小学校区から保育所がなくなれば、他の校区の保育所に通うことになり、小学校や中学校にも影響が出てくると思う。</li> <li>・ 両親共働きの家庭が増えており、働きながら子育てをする親が増えている。保育所がなくなった場合に、職場の近くなら預けられるが、閉園する保育所が増えてくると預けて働くことが難しくなるように思う。</li> <li>・ 保育所に子どもを預けるには、就労などの要件があるが、認定こども園の短時間児のように働いていなくても預けることができるようになれば、もう少し園児数も増えると思う。</li> <li>・ 一部では定員がいっぱいで預けられない園があり、他園に時間をかけて預けている親もいる。子供が増えるのが一番だが、閉園となるとより預けにくくなるので、園ごとの入所可能年齢などを緩和するなど園児が分散するような対応をお願いしたい。</li> </ul>

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度から「新見市版誰でも通園制度」を設けており、両親が働いていなくても入所が可能となっている。入所については、周辺部の園が対象となっているが、本来の入所要件を満たした方が優先となるため、希望される園に入所できないこともある。</li> <li>・入所可能年齢などの緩和については、なるべく低月齢の子どもから入所できるようにしたい考えはあるが、園の規模や設備などの条件があるため、全園で統一するのは難しいと考えている。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新見市版誰でも通園制度」について、周りの保護者からも利用してみたいという声を聴くが、入所可能な園が自宅から離れていたり、年齢が大きくなった時に自宅の近くの園へ転園しないといけなかったり、そういった懸念があって申請に足踏みをしている人もいる。</li> <li>・また、預けられる時間数が、平均すると平日では2時間程度になると聴いた。2時間だと毎日預けることは難しく、上の子も下の子も家で育児をしたいが、上の子のことを考えると、仕事を始めて保育所に預けた方がいいのかなど、悩んでいる人もいる。難しいと思うが、もう少し市内に子どもを預けやすい場所があればいいと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新見市版誰でも通園制度」では、1歳児及び2歳児を対象に、8時から16時までの間預けることが可能となっており、保育料も通常の入園児と同じ算定となっている。国が試行している「誰でも通園制度」は時間が少ないので、混同されているのかもしれない。「新見市版誰でも通園制度」の制度内容について、広報に努めたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の子どもは、小学校区外から現在の園に通っており困っていることはないが、子どもの数が減ってきているので、閉園する園も出てきて、預けられる園も、自宅から遠くなる人が増えると思うので、その対策があればいいと思う。</li> <li>・例えば、閉園して大きい園へと吸収されていく場合、子どもたちを地域内のどこかに集合させ、バスで送迎をするなど、送り迎えの対策ができれば、閉園もやむを得ないと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案をいただきありがとうございます。いろいろな方の意見を踏まえながら、将来的にはバスでの送迎などの議論をしていく時が来ると思う。現時点では、送迎など大変だと思うが、入所決定の際には、申込書の入所希望園や自宅、職場の位置を勘案し、できるだけ配慮をしたうえで入所決定を行いたい。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育認定と保育認定について、内容的な違いはあるのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育認定と保育認定の内容について説明。</li> </ul>

委員	・教育認定の数が新見中央認定こども園とその他の園では差があるが、理由はあるのか。
事務局	・検証はしていないが、新見中央認定こども園は、新見幼稚園から移行した園であり、幼稚園であった頃の名残があると思われる。
委員	・新見南認定こども園は園児数が多くなっているが、他園との平準化や施設の整備など、今後についてどのように考えているのか。
事務局	・新見南認定こども園については、施設の的にも人員的にも定員ぎりぎりの受け入れを行っている。平準化を図ることも必要かもしれないが、受け入れが可能な限りは、保護者の希望に沿って受け入れたいと考えている。
委員	・今後、少子化が進む中で統廃合について考えていかなければならないので、存続していく園については、充実した施設にしてほしいと思う。
委員	・私立などの民間の保育所の配置や受け入れ人数が分かれば教えてほしい。
事務局	・私立保育所の配置及び受け入れ人数について説明。
委員	・公立と私立の園では、保育料に差があるのか。
事務局	・地域型保育事業の3園と企業主導型保育事業の1園は公立と同じ保育料となっており、その他の私立保育所2園は独自の保育料を設定している。
委員	・子どもの数が減ってくるので、閉園などはやむを得ないと思うが、新見市として子育てがしやすいまちを全面に打ち出せるように、閉園などになってもしっかりサポートをして、困っている人を出さないよう心掛けてほしいと思う。
事務局	・協議いただきありがとうございました。保育所が閉園などとなると様々な問題が出てくるとは思うが、子どもたちの今後の成長を1番に考え、本日表示させていただいた「公立保育所・認定こども園の適正規模・適正配置基準」を基準として、今後の保育所・認定こども園の運営を考えていきたいが、よろしいか。
委員（一同）	・よろしい。
事務局	・ありがとうございます。令和7年度の入園募集については、現在休園している2園を含めて募集を行い、入園申込者数に応じて、議論いただいた基準を基に判断をしたいと考えている。

会長（進行）	■議事②その他について、何かあれば発言願いたい。
事務局	・新見市公式LINEの紹介。
委員	・前回の会議で話のあった学童保育の募集について、このLINEは対応をしているのか。
事務局	・学童保育については、前回の会議から内容が更新されているか分からないが、市の該当のホームページがリンクで紹介されるようになっている。
委員	・LINEを使用して、市民から市役所へ情報を発信することができるのか。
事務局	・道路の破損状況などについては、送ることができるようになっている。子育て支援の関係も送れるように対応できると思うので、将来的には何かできるように考えていきたい。
会長（進行）	・その他になければ、以上で議事を終了する。
副会長	・挨拶
事務局	・閉会